

□ 総合学術研究科保健福祉学専攻博士課程前期 (令和5年度入学生用)

	授業科目の名称	配当 年次	学 期		単 位 数			授業 時間数	担 当 者 () 内非常勤	備 考	
			前期	後期	必修	選択	自由				
共通科目	リハビリテーション科学特論	1・2	前期集中			2		30	西上, 田中 ^聡 , 矢守	4単位以上修得	
	コミュニケーション特論	1・2		○		2		30	吉川		
	保健医療福祉研究法Ⅰ(保健・看護)	1・2	○			2		30	松森		
	保健医療福祉研究法Ⅱ(リハビリテーション)	1・2	○			2		30	川原田		
	保健医療福祉研究法Ⅲ(ヒューマンサービス)	1・2	○			2		30	大下		
	保健医療福祉管理学特論	1・2	後期集中			2		30	ー R5開講せず		
	医療福祉倫理学特論	1・2	前期集中			2		30	(上野), 吉川		
	保健福祉専門職教育特論	1・2	○			2		30	山中, 池田, 梅井		
	地域福祉学特論	1・2	後期集中			2		30	田中 ^{聡子}		
	高齢者医療福祉特論	1・2		○		2		30	國定, 渡辺 ^暁		
	人体構造機能学特論	1・2		○		2		30	津森		6単位以上修得
	生体生理機能学特論	1・2	前期集中			2		30	森		
免疫学特論	1・2	○			2		30	加藤 ^洋			
疫学特論	1・2		○		2		30	岡田 ^ゆ			
緩和ケア特論	1・2	後期集中			2		30	黒田, (小原), (尾下)			
公衆衛生活動特論	1・2		○		2		30	俵			
女性の健康支援論	1・2	後期集中			2		30	宮下, 沖西			
脳神経機能病態学特論	1・2	○			2		30	原田			
精神医学特論	1・2	○			2		30	藤巻			
動作観察・分析学特論	1・2	○			2		30	金井			
感覚運動発達・学習特論	1・2		○		2		30	島谷			
ヘルスイノベーション特論	1・2		○		2		30	長谷川 ^正			
内部障害リハビリテーション学特論	1・2	○			2		30	積山			
作業科学	1・2	後期集中			2		30	吉川, 高木			
発達支援特論	1・2	前期集中			2		30	助川, 堀江			
臨床心理学特論	1・2		○		2		30	勝見			
精神保健福祉特論	1・2		○		2		30	江本			
障害者福祉論特論	1・2	○			2		30	米倉			
授業科目の概要	地域保健学・実践看護学分野	生体環境反応学特論	1	○		2		30	津森	20単位以上修得 ※研究指導教員が担当する特論科目、演習科目及び特別研究科目を含む。	
		生体環境反応学演習	1		○	4		60	津森		
		健康科学特論	1	○		2		30	安武		
		健康科学演習	1		○	4		60	安武		
		地域保健学特論	1	○		2		30	岡田 ^ゆ		
		地域保健学演習	1		○	4		60	岡田 ^ゆ		
		がん看護学特論	1	○		2		30	黒田		
		がん看護学演習	1		○	4		60	黒田		
		小児看護学特論	1	○		2		30	松森		
		小児看護学演習	1		○	4		60	松森		
		成人看護学特論	1	○		2		30	岡田 ^暁		
		成人看護学演習	1		○	4		60	岡田 ^暁		
		基礎看護学特論	1	○		2		30	青井		
		基礎看護学演習	1		○	4		60	青井		
		精神看護学特論	1	○		2		30	井上		
		精神看護学演習	1		○	4		60	井上		
		ウィメンズヘルズ看護学特論	1	○		2		30	宮下		
		ウィメンズヘルズ看護学演習	1		○	4		60	宮下		
	地域保健学・実践看護学特別研究	1~2		○		10		300	津森・安武・岡田 ^ゆ ・黒田・松森・岡田 ^暁 ・青井・井上・宮下		
	専 門 科 目	総合リハビリテーション分野	医療情報統計学特論	1	○		2		30		飯田
医療情報統計学演習			1		○	4		60	飯田		
脳神経機能学特論			1	○		2		30	森		
脳神経機能学演習			1		○	4		60	森		
運動障害評価学特論			1	○		2		30	小野		
運動障害評価学演習			1		○	4		60	小野		
機能・形態障害治療学特論			1	○		2		30	田中 ^聡		
機能・形態障害治療学演習			1		○	4		60	田中 ^聡		
筋・骨格系障害疼痛治療学特論			1	○		2		30	西上		
筋・骨格系障害疼痛治療学演習			1		○	4		60	西上		
生体情報計測学特論			1	○		2		30	川原田		
生体情報計測学演習			1		○	4		60	川原田		
人体動態解析学特論			1	○		2		30	金井		
人体動態解析学演習			1		○	4		60	金井		
発達科学特論			1	○		2		30	島谷		
身体活動支援学特論			1	○		2		30	長谷川 ^正		
ヘルスプロモーション科学演習			1		○	4		60	島谷, 長谷川 ^正		
医療教育学特論			1	○		2		30	梅井・積山		
医療教育学演習	1		○	4		60	梅井・積山				
運動行動障害学特別研究	1~2		○		10		300	飯田・森・小野・田中 ^聡 ・西上・川原田・金井・島谷・長谷川 ^正 ・梅井, 積山			

授業科目の概要	専門科目	総合リハビリテーション分野	授業科目の名称	配当年次	学 期		単 位 数			授業時間数	担 当 者 () 内非常勤	備 考		
					前期	後期	必修	選択	自由					
授業科目の概要	専門科目	総合リハビリテーション分野	作業遂行障害学領域	身体・老年期障害作業療法学特論	1	○		2		30	西田	20単位以上修得 ※研究指導教員が担当する特論科目、演習科目及び特別研究科目を含む。		
				身体・老年期障害作業療法学演習	1		○	4		60	西田			
				作業遂行認知・心理機能障害学特論	1	○		2		30	織田			
				作業遂行認知・心理機能障害学演習	1		○	4		60	織田			
				小児・発達期障害病態学特論	1	○		2		30	林			
				小児・発達期障害病態学演習	1		○	4		60	林			
				精神障害病態学特論	1	○		2		30	藤巻			
				精神障害病態学演習	1		○	4		60	藤巻			
				作業遂行学特論	1	○		2		30	吉川・古山・高木			
				作業遂行学演習	1		○	4		60	吉川・古山・高木			
				作業遂行応用学特論	1	○		2		30	久野			
				作業遂行応用学演習	1		○	4		60	久野			
				作業遂行障害学特別研究	1~2		○		10	300	西田・林・藤巻・吉川・古山・久野・高木・織田			
				総合リハビリテーション分野	コミュニケーション障害・脳科学領域	認知神経心理学特論	1	○		2			30	伊集院
						認知神経心理学演習	1		○	4			60	伊集院
		認知・言語機能障害学特論	1			○		2		30	渡辺 ^眞			
		認知・言語機能障害学演習	1				○	4		60	渡辺 ^眞			
		認知科学特論	1			○		2		30	古屋			
		認知科学演習	1				○	4		60	古屋			
		音声言語医学特論	1			○		2		30	田口			
		音声言語医学演習	1				○	4		60	田口			
		構音障害学特論	1			○		2		30	小澤			
		構音障害学演習	1				○	4		60	小澤			
		摂食嚥下リハビリテーション学特論	1			○		2		30	矢守			
		摂食嚥下リハビリテーション学演習	1				○	4		60	矢守			
		拡大代替コミュニケーション特論	1			○		2		30	坊岡			
		拡大代替コミュニケーション演習	1				○	4		60	坊岡			
		脳神経機能障害学演習	1				○	4		60	原田			
		オージオロジー学特論	1	○		2		30	佐藤 ^記					
		オージオロジー学演習	1		○	4		60	佐藤 ^記					
		コミュニケーション障害・脳科学特別研究	1~2		○		10	300	伊集院・渡辺 ^眞 ・古屋・田口・小澤・矢守・坊岡・原田・佐藤 ^記					
		総合リハビリテーション分野	ヒューマンサービス分野	臨床家族ソーシャルワーク特論	1	○		2		30	大下			
				臨床家族ソーシャルワーク演習	1		○	4		60	大下			
				適応行動学特論	1	○		2		30	細羽			
				適応行動学演習	1		○	4		60	細羽			
				介護福祉学特論	1	○		2		30	住居・國定			
				介護福祉学演習	1		○	4		60	住居・國定			
				ケアマネジメント特論	1	○		2		30	金子			
				ケアマネジメント演習	1		○	4		60	金子			
				福祉政策特論	1	○		2		30	田中 ^{聡子}			
				福祉政策演習	1		○	4		60	田中 ^{聡子}			
				メンタルヘルス・ソーシャルワーク特論	1	○		2		30	松宮			
				メンタルヘルス・ソーシャルワーク演習	1		○	4		60	松宮			
				社会保障特論	1	○		2		30	鶴田			
				社会保障演習	1		○	4		60	鶴田			
地域精神保健福祉学特論	1			○		2		30	越智					
地域精神保健福祉学演習	1		○	4		60	越智							
公的扶助特論	1	○		2		30	志賀							
公的扶助演習	1		○	4		60	志賀							
ヒューマン・サービス特別研究	1~2		○		10	4	大下・細羽・住居・金子・田中 ^{聡子} ・松宮・越智・志賀・鶴田							

修了要件: 2年以上在学し、所定の授業科目を履修して30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。

□ 総合学術研究科保健福祉学専攻博士課程後期 (令和4年度以降入学生用)

	授業科目の名称	配当 年次	学 期		単 位 数			授業 時間数	担 当 者 () 内非常勤	備 考
			前 期	後 期	必 修	選 択	自 由			
共通科目	地域課題解決特論	1	○		2			30	田中聡子, 岡田淳, 安武, 藤巻	4単位以上修得
	情報伝達技術特論	1	○		2			30	川原田, 市村, (浦川)	
	保健福祉サービス・アウトカム特論	1		○	2			30	飯田, 安武, 田中聡子	
	専門能力開発特論	1	○		2			30	黒田, 津森, 久野, (蒲)	
専門支持科目	職種間連携マネジメント特論	1	○		2			30	吉川, 金子, (沖田)	4単位以上修得
	生涯発達支援統合特論	1		○	2			30	林, 松森	
	高齢者支援統合特論	1	○		2			30	岡田淳, 西田, 久野, 伊集院, 國定	
	ヘルスプロモーションシステム特論	1	○		2			30	黒田, 青井, 田中聡, 森, 細羽	
授業科目の概要	専門科目	地域保健学・実践看護学特別講義	1		○	2		30	岡田淳, 松森, 岡田淳, 青井, 黒田, 津森	16単位以上修得
		地域保健学・実践看護学特別演習	1		○	2		30	岡田淳, 松森, 岡田淳, 青井, 黒田, 津森	
		地域保健学・実践看護学特別研究 I	1	○		4		120	岡田淳, 黒田・津森・松森	
		地域保健学・実践看護学特別研究 II	2	○		4		120	岡田淳, 黒田・津森・松森	
		地域保健学・実践看護学特別研究 III	3	○		4		120	岡田淳, 黒田・津森・松森	
		運動行動障害学特別講義	1		○	2		30	田中聡, 西上, 森, 小野	
		運動行動障害学特別演習	1		○	2		30	田中聡, 西上, 森, 小野	
		運動行動障害学特別研究 I	1	○		4		120	西上・森・田中聡	
		運動行動障害学特別研究 II	2	○		4		120	西上・森・田中聡	
		運動行動障害学特別研究 III	3	○		4		120	西上・森・田中聡	
		作業遂行障害学特別講義	1		○	2		30	西田, 久野, 藤巻, 吉川	
		作業遂行障害学特別演習	1		○	2		30	西田, 久野, 藤巻, 吉川	
		作業遂行障害学特別研究 I	1	○		4		120	西田・久野・藤巻・吉川	
		作業遂行障害学特別研究 II	2	○		4		120	西田・久野・藤巻・吉川	
		作業遂行障害学特別研究 III	3	○		4		120	西田・久野・藤巻・吉川	
		コミュニケーション障害・脳科学特別講義	1		○	2		30	伊集院, 小澤, 原田俊, 矢守	
		コミュニケーション障害・脳科学特別演習	1		○	2		30	伊集院, 小澤, 原田俊, 矢守	
		コミュニケーション障害・脳科学特別研究 I	1	○		4		120	伊集院・小澤・原田俊・矢守	
		コミュニケーション障害・脳科学特別研究 II	2	○		4		120	伊集院・小澤・原田俊・矢守	
		コミュニケーション障害・脳科学特別研究 III	3	○		4		120	伊集院・小澤・原田俊・矢守	
		ヒューマンサービス特別講義	1		○	2		30	金子, 住居, 田中聡子, 細羽, 大下	
		ヒューマンサービス特別演習	1		○	2		30	金子, 住居, 田中聡子, 細羽, 大下	
		ヒューマンサービス特別研究 I	1	○		4		120	金子・住居・田中聡子・細羽・大下	
		ヒューマンサービス特別研究 II	2	○		4		120	金子・住居・田中聡子・細羽・大下	
		ヒューマンサービス特別研究 III	3	○		4		120	金子・住居・田中聡子・細羽・大下	

【修了要件】

博士後期課程に3年以上在学し、24単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で博士論文を提出し、その審査及び最終試験に合格すること。

【履修上の注意】

共通科目は必修2単位を含む4単位以上、専門支持科目は必修2単位を含む4単位以上を修得する。

専門科目の特別講義・特別演習は、主研究指導教員が属する分野・領域以外から履修し、各2単位修得する。

研究指導教員が担当する特別研究 I、特別研究 II、特別研究 III を履修し、12単位を修得する。